

今号の作業

ベースプレートを取り付ける



本モデルの組み立て作業も、いよいよ今号で最後となる。最後の作業は「ベースプレート」の取り付けだ。73号で電飾ギミックのチェックを終えたディスプレイベースを用意し、スピーカーに「スピーカーネット」を取り付け、「ベースプレート」をはめ込めば、モデルは完成となる。

今号のパーツ



- ①ベースプレート×1
- ②スピーカーネットフレーム×1
- ③スピーカーネット×1

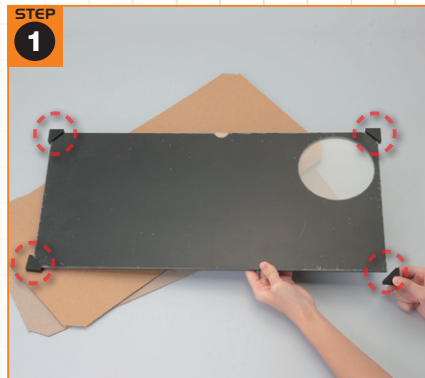
用意するもの

・メインフレーム(79号で組み立てたもの)
・ディスプレイベース(73号で電飾ギミックのチェックを済ませたもの)

使用する道具

・特になし

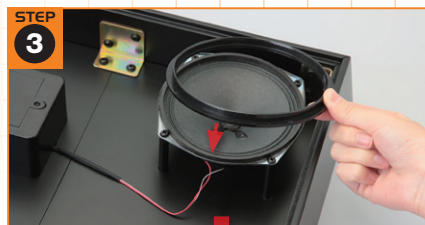
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



①ベースプレートをパッケージから取り出し、四隅にはめ込まれている保護カバーを取り外す。ベースプレートは硬質アクリル樹脂製のため、角が欠けやすいので取り扱いには十分注意しよう。



ベースプレートの両面に貼られている保護シートをはがす。



73号で電飾ギミックのチェックを済ませたディスプレイベースと、②スピーカーネットフレームを用意する。ディスプレイベース内のスピーカー上部に、スピーカーネットフレームを“ツバ”の部分が下になるようにのせる。



次に③スピーカーネットを用意する。ネットの外周部は鋭利な状態になっているので、けがなどをしないよう十分に注意しよう。



④で取り付けしたスピーカーネットフレームの上に、スピーカーネットをかぶせる。この段階では位置が定まらずガタガタするが、問題はない。



ベースプレートを用意し、ディスプレイベース奥側の両隅からはめ込む。



プレートの穴にはまるよう、ネットの位置を調整する



スピーカーネットの位置をベースプレートの穴位置に合わせ、ベースプレートを完全にはめ込む。



79号で組み立てたモデルを用意し、ディスプレイベースの上に置いてみよう。このとき、モデルのエンジン下部にあるIRセンサーが、ベース側のセンサーの真上に近づくよう位置を調整する。ベース側センサーの位置は、「ディスプレイベースの中心よりやや左寄り(写真の赤丸)」になる。

今号の完成

これで本モデルの組み立て作業はすべて完了した。電飾ギミックを楽しむときは、73号のチェック手順と同じ要領で電池をセットし、スイッチとなる「2本のキー(モデル側+ディスプレイベース側)」を差し込めば、灯火類の点灯やエンジンサウンドを堪能することができる。



サイドスタンドで立てた状態でもディスプレイが可能。ただしサイドスタンドでは若干不安定なので、長い期間継続してディスプレイする場合はメインスタンドで立てるようにしよう。